

報告書内で使用されている用語の解説

No.	該当ページ	用語	解説
1	P.2、P.11	NRT-SEA	運航区間を表します。NRT=成田空港、SEA=シアトル・タコマ空港を表し、この場合は、成田空港発、シアトル・タコマ空港着という意味です。
2	P.2、P.11	16R	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「16」：滑走路ごとにつけられた個別の標識で、離陸、着陸の際の呼称として使用されます。数字は北を起点に360度の方角の、1の位をとった2桁で表現され、「16」の場合は、この滑走路の方角が160度の方角という意味です。</li> <li>● 複数の滑走路が並行している場合には、それらを区別するために滑走路の数字に続けて右側の「R」、左側の「L」が付けられています。滑走路が並行して3本ある場合には、「R」「C(Center)」、「L」が付加されます。</li> </ul>
3	P.2、P.11	16C	No.2「16R」の説明を参照ください
4	P.2、P.11	16L	No.2「16R」の説明を参照ください
5	P.2、P.12	SAN-NRT	運航区間を表します。SAN=サンディエゴ空港、NRT=成田空港を表し、この場合は、サンディエゴ空港発、成田空港着という意味です。
6	P.2、P.3、 P.4、P.9、 P.12、P.19、 P.20	ヒヤリハット	ヒヤリハットとは重大な災害や事故に直結する一歩手前の出来事のことを指し、思いがけない出来事に「ヒヤリ」としたり、事故寸前のミスに「ハッ」としたりすることが名前の由来です。 事故や災害につながる要因を特定し対策する貴重な機会であり、安全管理やリスクマネジメントにおいて重要視されています。
7	P.3、P.15	DFW-HND	運航区間を表します。DFW=ダラス空港、HND=羽田空港を表し、この場合は、ダラス空港発、羽田空港着という意味です。
8	P.3、P.7、 P.14	ブリーフィング	乗務開始前に、運航に携わる関係者間で行われる運航関連情報に関する打ち合わせ、および相互に確認する場です。
9	P.3、P.8、 P.16、P.17	アサーション	相手を尊重しつつ自分の意見を主張するコミュニケーション方法の1つです。

No.	該当ページ	用語	解説
10	P.3、P.8 P.16、P.17	飲酒マナー三原則	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 時間：飲む前にメンバー全員で「終了時間を決め、節度をもって飲みましょう」。</li> <li>2. 量：飲んでいる時は、仲間意識をもって、お互いの体調と飲酒量を確認しながら「適量の飲酒に努めましょう」。</li> <li>3. 行動：常に JAL グループの一員であるという自覚を持ち「他人に迷惑をかけない正しい行動をしましょう」。</li> </ol> <p>※飲んだ翌日は自分の体調を確認し、万全の体調で仕事に臨みましょう。</p>
11	P.4、P.13	FUK-HND	運航区間を表します。FUK=福岡空港、HND=羽田空港を表し、この場合は、福岡空港発、羽田空港着という意味です。
12	P.4、P.13	FUK-MYJ	運航区間を表します。FUK=福岡空港、MYJ=松山空港を表し、この場合は、福岡空港発、松山空港着という意味です。
13	P.4、P.8、P.9 P.18、P.19、	スポット	航空機が駐機する場所です。
14	P.4、P.5、 P.9、P.18、 P.19、P.20	プッシュバック	航空機は自力ではバックできないため、出発の際に牽引車を使用して押し出す作業のことを Push Back と言います。
15	P.4、P.5	インターフォン担当者	航空機には、操縦室内のパイロットが地上の整備士等と会話ができるように、前輪の近くにヘッドフォンを差し込める口があります。この差込口を通じて連絡する手段をインターフォンと呼び、パイロットと連絡を取る担当者をインターフォン担当者と呼びます。
16	P.4、P.18	クリアランス	グランドハンドリング作業や整備作業において、航空機と他の航空機、車両、建造物との間の距離が十分にあることや、物と物の間に隙間があることを指します。また、管制官から与えられた許可（地上での走行許可、離陸・着陸許可等）を示す用語としても使用されます。
17	P.4、P.5、 P.9、P.18、 P.19、P.20	翼端監視員	出発の際に牽引車が航空機を押し出す時など、翼の端など、牽引車の運転手からはっきりと見えない部位が、建造物や車両、他の航空機と接触しないよう監視する作業者のことを指します。
18	P.1、P.5、 P.6、P.9	安全管理システム	安全に係るリスクを管理するための仕組みのことで、必要な組織体制、責任、方針及び手順を含みます。

No.	該当ページ	用語	解説
19	P.5	ハザード	航空事故やその他の航空の安全運航に影響を及ぼす事態を引き起こす可能性がある要因のことを指します。
20	P.7、P.14	CRM（シーアールエム）	Crew Resource Management の略語で、安全運航を達成するために操縦室内で得られる利用可能なすべてのリソース（人、機器、情報など）を、有効かつ効果的に活用し、チームメンバーの力を結集して、チームの業務遂行力を向上させるものです。
21	P.9、P.19	車載チャート	操縦席の画面に表示される空港のレイアウトを示す地図です。
22	P.4、P.5、 P.9、P.18、 P.19、P.20	トーイングドライバー	航空機を移動させる車両（トーイングカー）の運転手のことです。
23	P.11	Hold short of Runway 16L	滑走路「16L」の手前で待機することを意味します。
24	P.2、P.11	Runway 16Center	No.2「16R」の説明を参照ください。
25	P.12	AMM（エーエムエム）	Airport Moving Map の略語です。操縦席の画面上に、空港の駐機場・誘導路などを詳細を示すと同時に、自機の位置を示すことで自機の位置を正確に把握することが可能になります。
26	P.9、P.19	チャート	滑走路や誘導路を示した航空図のことで、空港に関するチャートの他、出発、到着、着陸、航路に関するチャートがあります。
27	P.4、P.13	Runway34 (ランウェイ・スリーフォー)	北を起点として 340 度の方角に向かった滑走路につけられた識別番号です。
28	P.13	Runway22 (ランウェイ・ツーツー)	北を起点として 220 度の方角に向かった滑走路につけられた識別番号です。
29	P.15	Operations Manual (オペレーションズマニュアル)	運航の安全かつ円滑な遂行を目的として、業務を行うための具体的事項を定めたマニュアルです。
30	P.18	ウイングレット	航空機の主翼の端に取り付けてある、上方に立っている小さな翼端板のことです。